

ノーモア・ヒロシマ！ノーモア・ナガサキ！ノーモア・ヒバクシャ

被爆65周年
核兵器廃絶

2010平和ナガサキ大会



被爆65周年を迎えた長崎市において、2010年8月7日(土)～9日(月)「2010連合平和行動in長崎」が行われました。

8月7日(土)は、日本労働組合総連合会(連合)・原水爆禁止日本国民会議(原水禁)・核兵器禁止平和建設国民会議(核禁会議)、三団体が主催する「核兵器廃絶2010平和ナガサキ大会」が長崎市油木町の長崎県立総合体育館(アリーナ・カブトガニ)メインアリーナで開催され、全国から4,500人の参加者が詰め掛けました。

川野浩一原水禁議長の開会あいさつ後、主催者を代表して南雲弘行連合事務局長があいさつ、来賓あいさつ(中村法道長崎県知事、ITUCジェンマ・アダバ国連事務局長、UNIジョー・デブリンアジア太平洋地域会長、NGOポール・マーティン米国ピースアクション政策担当)の後、浜崎均長崎証言の会代表委員からの被爆者の訴え、平和ヒロシマ代表団からのピースメッセージ、2009・2010高校生平和大使の報告・決意表明、連合長崎組合員と家族などが練習を積み重ねた構成詩が披露され、到着が遅れていた田上富久長崎市長からのあいさつを受けた後、芳川孝太郎連合長崎青年委員会委員長からの平和アピール、小石隆連合長崎会長から南雲連合事務局長へピースフラッグリレーを行い、参加者全員で「原爆を

許すまじ」を合唱しフィナーレを迎え、大山耕輔核禁会議副議長の閉会あいさつで大会を締めくくりました。

特に、被爆65周年を迎えた今回の大会においては、5月に行われた核拡散防止条約(NPT)再検討会議の最終文書の合意を受け、このことを2015年の同会議に向けた一歩前進ととらえ、平和市長会議が提唱する2020ビジョンの実現に向けて、核廃絶への活動を力強く、この長崎から発信していこうとのあいさつが相次ぎました。

連合長崎に結集する私たちの今後の活動が全世界から注目されています。構成組織・地協のより一層のご協力で、平和連帯活動を強化していきましょう。

8月8日(日)には、午前中、青年・女性委員会が中心になって取り組んだ「ピースウォーク」が原爆落下中心地公園・平和公園で開催され600人を超える参加者があり、午後からの「ピーストーク」にも450人も参加者がありました。

8月9日(月)には、あいにくの雨模様の中、平和式典が平和公園で開催され、連合本部・連合長崎・各県連合も参列し、連合本部・連合長崎の南雲事務局長、小石会長が慰霊の献花を行い、夜には、組合員が作成した万灯を浦上川に流し、2010連合長崎平和行動を終了しました。

2010 平和ナガサキ大会

The 2010 Peace Meetings in Nagasaki

主催/日本労働組合総連合会・原水爆禁止日本国民会議・核兵器禁止平和建設国民会議



ピースメッセージ (平和ヒロシマ代表団)



田上長崎市長
のあいさつ



高校生平和大使



被爆者の訴え
長崎証言の会代表委員
浜崎 均

The 2010 Peace Meetings in Nagasaki

主催/日本労働組合総連合会・原水爆禁止日本国民会議・核兵器禁止平和建設国民会議



構成詩



平和アピール
(芳川孝太郎連合長崎青年委員会委員長)



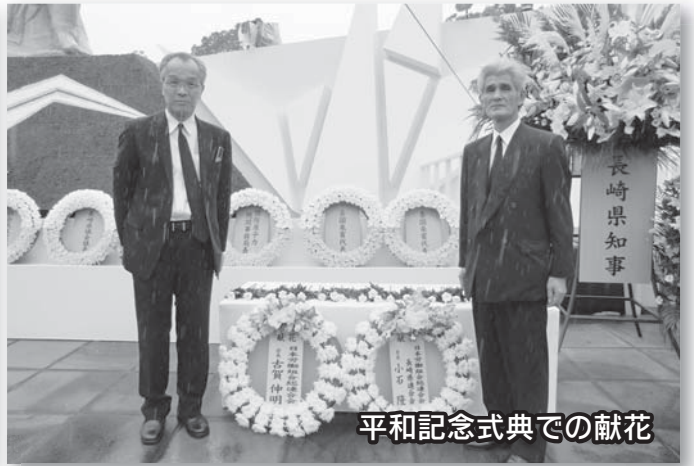
ピースフラッグリレー



ピースウォーク



2010 ピーストーク in 長崎



平和記念式典での献花



万灯流し



2010 連合長崎

1/24

米軍基地整理・縮小、
日米地位協定抜本見直し日出台集会



6/23~25

連合平和行動in沖縄



7/24

平和の泉清掃



8/3~6

平和キャラバン隊



7/31

万灯作成



平和行動の軌跡

8/4~6 平和行動in広島



連合の2010平和行動は、9月の平和行動in根室に続きます。

「働く人の電話相談室」9月10日～12日

9月10日はWHOが定めた「世界自殺予防デー」・9月10日～16日「自殺予防週間」

全国では毎年3万人を超える自殺者が12年間も続いています。

長崎県でも毎年400人近くの方が自殺に追い込まれています。

一番大切なのは「命」です。

連合は(社)日本産業カウンセラー協会が実施する「働く人の電話相談室」に協力を行っています。

つらいこと、苦しいこと、ゆっくり話してみてください。

言葉に
できないほど、

つらいこと、
苦しいこと、

ゆっくり
話してみ
てください。

9月10日は
世界自殺予防デー

9.10世界自殺予防デー(WHO)
にあわせて「働く人の電話相談
室」を開設します。ご家族から
のご相談も受け付けます。

産業カウンセラーに
ダイレクトに
つながります。

「生きているのがつらい…」
その気持ちを誰かに伝えるだけ
でもずっとラクになります。
電話がつながった先に産業カウ
ンセラーがいます。
あなたのつらい気持ちに寄り添
い、耳を傾けます。

「働く人の電話相談室」

9 / 10(金) 11(土) 12(日)

10:00～22:00

 0120-583358

主催：社団法人 日本産業カウンセラー協会

協力：日本労働組合総連合会(連合)

後援：内閣府／厚生労働省／中央労働災害防止協会

独立行政法人 労働者健康福祉機構

社団法人 全国労働基準関係団体連合会

日本産業カウンセリング学会

日本産業精神保健学会

財団法人 産業医学振興財団